

先月の親子仏法の集い

—どんな活動をしているの？—
4月19日(日)の活動を紹介します

*親子仏法の集いでは、毎月標語と目標があります。
仏教のことばから、わたしたちの日々の目標を考えます*

4月の標語 「合掌」(がっしょう)

目標 —正しいお参りのしかたを知る—



1、合掌(がっしょう)ってなあに？

合掌礼拝(らいはい)は、「成績がよくなりますように」「リレーで一等になれますように」など何かお願いごとをすることではありません。「仏さまのお徳をたたえ、感謝すること」です。

合掌は、もともとは仏教の生まれた国インドでの礼儀作法で、仏さまへの世界共通のご挨拶です。「南無(なむ)阿弥陀仏(あみだぶつ)」「(念仏)」とは「阿弥陀さまに帰依(きえ)します、深く信じておすがりします」という意味です。ご挨拶ですから、必ず声に出して言きましょう。

また、合掌の時には、必ずお念珠(ねんじゅ)を持ちましょう。信心があればいいじゃないか、お念珠がなくなったら、作法なんてどうだっていいじゃないか、という人もいるかもしれませんが、大切な尊敬する人に会うとき、ご挨拶するとき、その敬意、感謝の気持ちを端的に表せるのは、正しい作法、姿です。お念珠を持たずに礼拝することは、「仏をば手づかみにこそせられたり」(仏さまを手づかみするようなものである)と蓮如上人は仰せになりました。礼拝も、法要も、親子仏法の集いも、合掌に始まって合掌で終わります。正しいお参りのしかたを知り、敬い感謝する気持ちを正しく伝えられるようになることはとても大切なことですね。

2、合掌のしかたはどうするの？

- ①背すじをのばし、指をまっすぐ伸ばして両手をあわせませす。
念珠は、ふさが真下にたれるようにして親指と他の四本の指の間にかけて、親指で軽く抑えます。
- ②みぞおちのあたりに合わせた両の手首がくっつくようにし、伸ばした指は45度くらい上にくるようにしてかまえます。
- ③「なむあみだぶつ」とお念仏を数回唱えて、ゆっくり上体を45度くらい傾けて数秒保ち、またゆっくりと上体を元に戻します。
- ④合掌していないとき、お念珠は左手に持ちます。



職員手作りの紙芝居で、仏教説話に親しみましょう

今月の法話：「さるはほとけさまだった」

ある国の山のふもとに広い草原があった。草原の真ん中には、近所の人や動物たちしか知らない井戸があった。ある日のこと。たいそうえらいと言われているあるお坊さんが、南の国を目指して草原を歩いてきて、その井戸の水を飲んだ。すると、近くの木に喉がからからに渴いたさるがいて、お坊さんはかわいそうに思い、水を汲んでやった。

しかし、さるはお坊さんを警戒して、近づかない。怒ったお坊さんは、「命の恩人にお礼も言えないのか、くたばってしまえ」と石を投げた。

すると、さるは身をかわし、代わりにごみをお坊さんに投げ、お坊さんはごみまみれになった。お坊さんはさるのしわざにひどく怒っていたが、体についた汚れを洗い流しているうち、だんだんと気持ちが変わっていった。命をなくそうとしていたさるに水をやって、さるの命が助かった。ただそれだけを喜べる心こそ、仏さまの心ではないかと気がついた。「助けてやった」「ありがとうと言われたい」と思っていた自分を取じた。あのさるは、このことを自分に教えるために出てきてくださった仏さまではなかったか—。

こんな自分をみのがさず見守ってくださったさる仏さまの心が嬉しく、ありがたい気持ちでいっぱいになったお坊さんは、また南へ向かって歩き出した。



書道「安心 (あんじん)」を書いてみよう &手ぬぐいで掛軸 (かけじく) づくり

* 菜園活動ができない雨の日も、「親子で仏法に親しむ」
をテーマにさまざまな活動を行っています。
この日は、書道体験と掛軸づくりにチャレンジ!

1) 掛軸 (かけじく) ってなあに?

まず始めに、博物館学芸員のお姉さんが、本物の掛軸を見せてくれました。東本願寺 23 世句仏 (くぶつ) 上人俳画「金棒図」。
墨で勢いよく描かれた鬼の金棒と、ちょっと怖い俳句の掛軸です。
掛軸はどんな形? 何が書いてあるの? また、掛軸の歴史なども学びました。
掛軸の形にすることで、多くの人が一度にみることができ、
くるくる巻けば持ち運びも簡単。掛軸とは、昔の人の知恵と匠 (たくみ)
の技が詰まったものなのですね。京都では、お寺や神社、茶道の家元など
が多いことから、掛軸づくりの技術も一流です。

2) 書道「安心 (あんじん)」を書いてみよう!

書道のお姉さんが、安心の書き方を実際に書きながら説明。
丁寧に書く書き方だけでなくパフォーマンス書道も実演!
かっこいい! と子どもたちからは歓声があがりました☆
みんなも、きちんと正座して、それぞれの「安心」を書きました。



其果てが
御用心
皆此棒の御厄介
句仏



3) 手ぬぐいで掛軸づくり

書いた「安心 (あんじん)」を、手ぬぐいで掛軸
に仕立てます♪ かわいい柄の手ぬぐいと、みんなの
書のコラボ! 和室にも洋室にも合う、素敵な掛け軸
が出来上がりました!



菜園のこと

晴れだったら植える予定だったしょうがとにらについて、菜園のお姉さんがお話ししてくれました。実際にしょうがの球根をさわったり、栄養や野菜の歴史についても勉強しました★



☆集いの後、雨があがったので、菜園に行ってみました☆

成長したほうれんそうを収穫しました♪

自分たちが植えて育てたほうれんそう。思い出もひとしおです。



親子仏法の集いの菜園は、送迎バス乗り場の近くにあります！
お参りにきたらのぞいてみてくださいね★

—親子仏法の集いの流れ—

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|----------------------------------|
| 10:00 | 仏さまにお供え・合掌・礼拝
して始まります | 10:40 | その月の活動
(晴:菜園での活動 雨:屋内での活動) |
| 10:10 | 今月の標語と目標について
考えよう | 11:40 | 合掌・礼拝
仏さまのお下がりのお菓子を
いただきます |
| 10:20 | 法話—仏教説話の紙しばい— | | —お誕生日のお子さんのお祝い— |
| 10:30 | 菜園と野菜のお話 | 12:00 | 終了 |



「お下がりをいただく」ということを最近あまり聞かないかもしれません。いただいたお菓子や果物などは、まずお仏壇の仏さまにお供えして、合掌・礼拝する。その後、仏さまのお下がりとして、そのお菓子をいただく—親子仏法の集いでは、この作法とところを大切に、子どもたちに伝えています。

古きよき日本人のこころを育てた仏さまの教え。野菜づくりやささまざまな体験を通して、一緒に成長しましょう！

**親子仏法の集い参加希望の方は、東本願寺東山浄苑

TEL **075-541-8391** まで(毎日 9:00~17:00)**

